



潮風

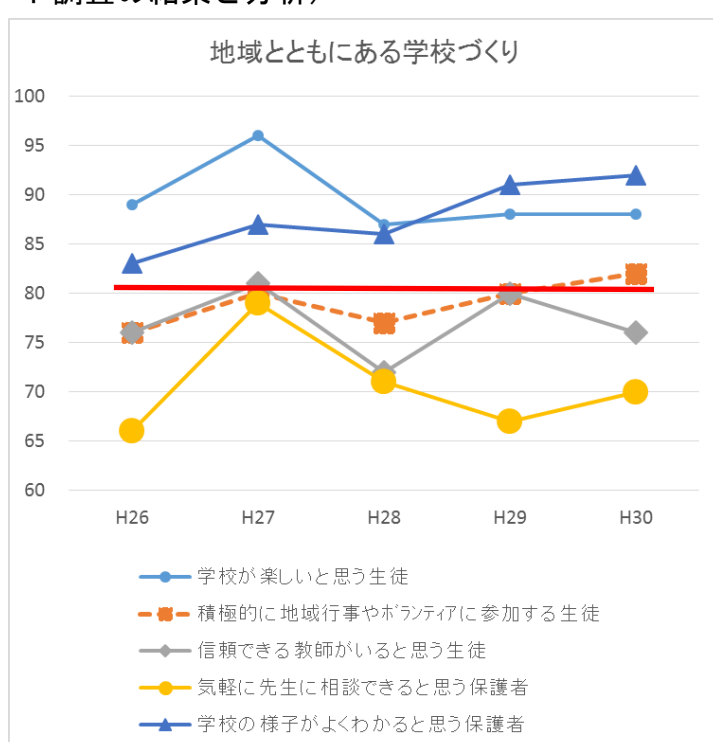
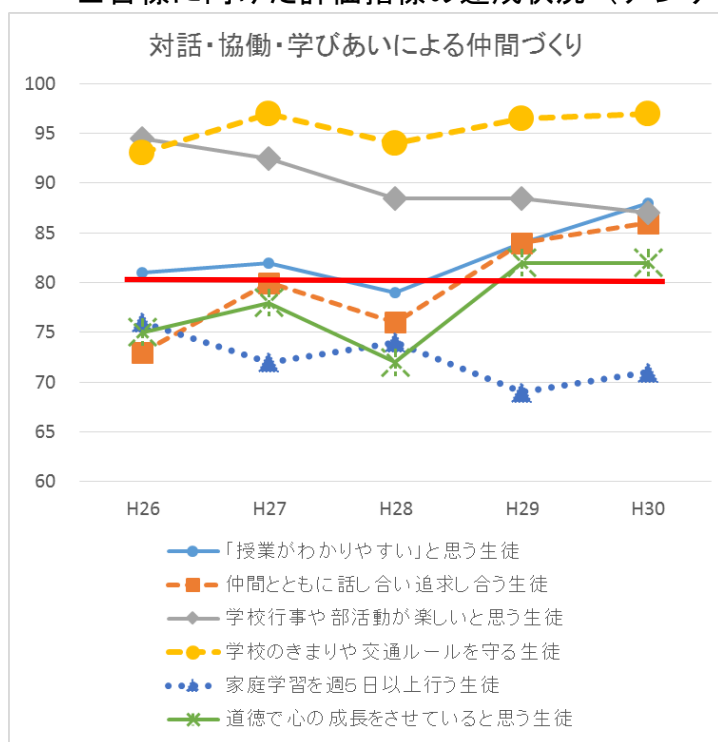


平成 30 年度
2 月号
掛川市立大浜中学校

—今年度の成果と課題（学校関係者評価委員会を終えて）—

12 月に実施した保護者・生徒アンケートの結果を踏まえ、1 月 25 日に「学校関係者評価委員会」を実施しました。学校評議委員、PTA 三役が出席し、今年を総括していただきました。全体的には肯定的な御意見が多く、引き続きこの方向で取り組むことを確認しました。学校関係者評価委員会では出された意見等は、次年度の教育計画に反映し、引き続き、「地域とともにある・地域が誇れる大浜中」を目指して取り組んでまいります。

■目標に向けた評価指標の達成状況（アンケート調査の結果と分析）



- ◎授業が分かりやすい 88%（前年度比+4ポイント）
- ◎仲間とともに話し合い、追究する 86%（前年比+2 P）
- ▲学校行事や部活動が充実している 87%（前年比-2 P）
- 学校のきまりやルールが守れる 97%（前年比±0 P）
- ◎家庭学習を週5日以上行う 71%（前年比+2 P）
- 道徳で心が成長 82%（前年比±0 P）

- 学校が楽しいと思う 88%（前年比±0 P）
- ◎積極的に地域行事やボランティアに参加している 82%（前年比+2 P）
- ▲信頼できる教師がいる 76%（前年比-4 P）
- ◎気軽に教員に相談できると思う保護者 70%（前年比+3 P）
- ◎学校の様子がよく分かると思う保護者 92%（前年比+1 P）

ここ3年間の変化を見ると、2年連続で向上している項目が、「授業が分かる」「仲間と話し合って追究する」「積極的にボランティアに参加する」「学校の様子がよく分かる（保護者）」です。次に、2年連続良い数値（向上又は現状維持）の項目が、「学校が楽しい」「学校のきまりや交通ルールを守る」「道徳で心が成長」です。

また、「気軽に相談できる教員がいる（保護者）」が前年度より増加しており、とてもうれしく思っています。一方、昨年度 80%あった「信頼できる先生がいる（生徒）」が4ポイント下がってしまったので、この点については、改めて「生徒に寄り添う生徒指導」に努めてまいりたいと思います。

一次年度に向けてⅠ 大浜中コミュニティスクールが始動しますー

平成 31 年 4 月、大浜中学校は「学校評議委員会制度」に変えて「学校運営協議会制度」を導入します。この制度がある学校を「コミュニティスクール（通称）」と呼びます。

国や文部科学省では、地域に根付いた、地域とともにある学校づくりを推進する上での両輪として「学校運営協議会（コミュニティスクール）」と「地域学校協働本部」を掲げています。

「学校運営協議会（コミュニティスクール）」は、地域住民等で構成され、学校長が示した学校運営方針等を議論し、承認するなど、地域住民が学校運営に参画する仕組み・組織となっています。従来の「学校評議委員会制度」は、評議員が校長に意見を述べる仕組みでしたが、今後は校長を含めた委員の合議制で決めていくこととなります。

また「地域学校協働本部」は、地域住民等が、「おらが学校を盛り上げよう」と、ボランティア等で学校の教育活動を支援する仕組み・組織です。ちなみにこの仕組みはすでにできあがっており、これが皆さんご存知の「大浜学園子ども育成支援協議会」となります。現在、コーディネーターの赤堀敬子さんが中心となって地域と学校を繋いでくれています。

「学校運営協議会（コミュニティスクール）」が本年 4 月にスタートし、国が掲げる両輪が揃えば、大浜中学校は益々「地域とともにある学校」に近づいていきます。



一次年度に向けてⅡ 2大イベント（ラグビー観戦・夢講演）が決定ー

次年度の計画が徐々に決まってきました。現在確定したイベント二つを紹介します。

○ みんなで行こう！ラグビーワールドカップ観戦

10月4日（金）18:45-20:20 南アフリカ VS イタリア

静岡県の世界カップ関連事業に大浜中学校が応募した結果、ラグビーワールドカップエコパ会場に無料招待してもらえることになりました。本来なら2,500～5,000円する中学生のチケット代、さらに往復のバス代が無料です。帰宅時間は若干遅くなりますが、一生に一度の貴重な体験になると思います。

○ 生徒の主体的な部活動を実現する夢講演会

4月23日（金）午後、本校体育館で、子どもたちの主体的な活動（部活動等）を伸ばすための講演会を実施します。講師は日本体育大学の伊藤雅充教授です。（校区の2小学校の6年生も一緒に聴きます）全米オープンで優勝した大坂なおみ。それを支えたのはコーチの存在です。本人のモチベーションを支える声掛け「コーチング」が重要です。コーチングの第一人者である伊藤先生をお迎えし、生徒主体の充実した部活動のヒントとなる講演をみんなで聴きたいと思います。



常に新しいことへの
チャレンジ。
コーチは一生、
学び続けます。

コーチング学系
伊藤 雅充 教授